

(2) 中学校における公開授業

益城町立益城中学校 第3学年 球技 「バレーボール」 R3.11.26

① 本時の目標

バレーボールコートで「拾って、つなげて、アタック！」を行うために必要なことを考える。

② 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の注意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>①健康観察 ②今日の学習の流れを確認する。 ③スキルアップタイム ○キャッチバレーボールゲーム</p>	<p>○健康状態に十分注意する。 ○これまでの技能のポイントを振り返る。 ○みんなで声をかけ合いながら、ゲームができるように促す。</p>
<p>【めあて】バレーボールコートで「拾って、つなげて、アタック！」を行うために必要なことを考えよう。</p>			
展開	35分	<p>2 課題解決に向けて活動をする</p> <p>①これまでの学習を振り返る これまでの個人・チームの動画記録を見ながら、技能のポイントを振り返る。 ②「単元のゴール姿」を再確認する バレー部が練習する動画を視聴し、「ゴールの姿」である「拾って、つないで、アタック！」がどのようなものかを確認する。</p>	<p>○これまでの授業の中で撮影した個人やチームの技能の動画を見て、技能のポイントを確認させたり、上達を実感させたりする。 ○オンザボールの動きだけでなく、オフザボールの動きに注目させる。</p>
		<p>【学習課題】空いた場所をめぐる攻防に必要な動きを考えよう。</p> <p>③ゲーム① バレーボールコートとバドミントンコートで3分間×4セットのゲームを行う。ゲームを進めながら、学習課題の解決を図るための話し合いを行う。 ④チームで話し合い、全体での確認を行う。 学習課題に対するチームの考えを整理し、全体意見を出し合う □空いた場所をねらうには・・・ □空いた場所をつくらないためには・・・ ⑤ゲーム② 再度3分間のゲームを行う。ゲーム①と全体共有で学んだことを実践する時間とする。</p>	<p>○見る人はゲームの観察や分析を行い、動画を適宜撮影する。 ○出された意見を認めながら、対話を重ねていくことで、学習課題に対する答えに気づかせる。 ○ゲーム②で学習課題を意識した動きができるように、「技能の基準」を示す。</p>
<p>【具体の評価基準】(思・判・表) 自己や仲間の技術的な課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 (観察・学習カード)</p>			
終末	5分	<p>3 めあてに対する振り返りを行う</p> <p>①今日の学習のまとめ、発表をする。</p>	<p>○上手くいった時の場面を振り返りながら、新たな気づきがあれば発表させる。</p>
<p>【まとめ】 ラリーの中で空いている場所をカバーする動きをするとよい。</p>			
		<p>②学習の振り返り ③整理運動・片付け</p>	<p>○教師がチームワークについての気づき、称賛、アドバイスを行う。 ○生徒の体調を確認し、安全に留意させる。</p>

③ 授業の様子



運動量の確保につなげるために、一単位時間の流れがいつでも分かるようホワイトボードに提示して確認し、教師の指示を極力減らしました。

上手くいった場面を振り返り、新たな気付きを出し合い、試行錯誤をしながら学びを深めていきます。

伝えあう



やってみる

大型モニターを利用して、以前撮影した個人やチームの動画を視聴し、技能のポイントを確認したり、上達を実感させたりします。

確かめる



④ 成果と課題（◎：成果、▲：課題）

- ◎ 本時の授業の流れが生徒にも分かるように提示してあったので、見通しをもって学習に取り組むことができていた。それに伴い、説明する時間が減少し、運動量を確保することができた。
- ◎ 以前撮影した自分やチームの動画と比較したり、お手本動画を見たりすることで、意欲を引き出すことにつながった。
- ▲ チーム全体の課題等を確認する目的でICTの活用が図られていたが、撮影場所や視聴する視点・ポイントを共通理解した上で、課題を伝え合うことがうまくできていなかった。
- ▲ ICTを活用することで、生徒たちにどんな力を身に付けさせるかを明確にする必要がある。また、課題解決につなげるためのICT活用能力を育成していく必要がある。